

2021年11月16日

脳神経外科に、過去に入院された患者さん
もしくはこれから入院される患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 開頭腫瘍摘出術後患者の在院日数と入院中の体重変化率の関連についての後方視的検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] リハビリテーション部 理学療法士 眞鍋朋誉

[研究の目的]

脳腫瘍に対する開頭腫瘍摘出術を施行された患者さんにおいて、術後在院日数や身体機能、転帰に対して入院中の体重変化が影響するかを調査することで、リハビリテーションを含む術後の治療の発展に役立てるため。

[研究の方法]

対象となる患者さん

原発性脳腫瘍の診断に対して、2010年1月1日から2022年12月31日の間に、当院脳神経外科にて開頭腫瘍摘出術を施行された方

利用する検体・診療情報

検体：特になし

診療情報：脳腫瘍の病理学的診断と悪性度、再発の有無、局在、合併症および既往歴、手術時年齢、性別、同居家族の有無、入院期間中の身体所見(身長、体重、Body Mass Index)、退院時の体重を術前の体重で除した体重変化率、血液データ(総蛋白値、アルブミン値、予後栄養指数、C反応性蛋白値)、手術時間、術中出血量、手術以外の治療状況、栄養状態(摂取エネルギー充足率、栄養量、Mini nutritional assessment)、精神認知機能検査値(Mini-Mental State Examination、Hospital Anxiety and Depression Scale)、身体機能測定値(Glasgow Coma Scale、下腿周囲長、握力、10m歩行速度、Fugl-Meyer Assessment)、日常生活動作能力値(Food Intake LEVEL Scale、Barthel Index、Eastern Cooperative Oncology Group Performance Status)、身体活動量アンケート結果(International Physical Activity Questionnaire)、生活の質アンケート結果(European Organization for Research and Treatment of Cancer: Quality of Life of Cancer Patients)、入院日、手術日、術後座位開始日、術後立位もしくは歩行開始日、退院日、転帰、術後リハビリテーションの有無

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 脳神経外科

香川大学医学部附属病院 リハビリテーション部

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院リハビリテーション部 理学療法士 眞鍋朋誉

電話 087-891-2306